

令和5年度外国人介護人材日本語・介護技術学習支援事業実施業務に係る質問に対する回答

令和5年2月13日

番号	仕様書 関連箇所	質問内容	回答
1	仕様書4 (2)ロ	講座の実施方法について、「リアルタイムでは受講できない受講者への配慮」とあり、動画等と明記とされているが、実技については補講や振り返り時間の設定等で検討してもいいか。	可能です。動画の記録及び配布はあくまで例示であり、対象者の属性に応じ、受託事業者と協議の上、本受講者への対応を検討したいと考えております。
2	仕様書4 (2)ハ,ニ	コース及びクラスの設定、実施回数の方針について「全30回程度」とあるが、1クラス30回を3クラス実施するという認識でよいか。	そのとおりです。
3	仕様書4 (2)ニ	実施回数について、1回の時間数は3時間程度を想定しているが、例えば1日で午前3時間・午後3時間で実施を考えた場合、1日で2回の開催という認識でよいか。	お見込みのとおりです。ただし、仕様書4(2)イのとおり、対象者は県内の介護サービス事業所・介護施設において従事する外国出身の介護職員も想定しているため、これらの受講者が受講しやすい体制整備として、1日あたりの時間数は3時間程度以内とするのが望ましいと考えております。